

# 2024年度（令和6年度） 自己評価結果公表シート

自令和6年4月1日～至令和7年3月31日

学校法人 敬愛学園  
岸部敬愛幼稚園

## 1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

前年度の課題をふまえ、教職員自らが客観的に自園の建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）や教育目標を見つめ、且つ「子どもにとっての最善の利益は何か」「誰のために」「何のために」という視点を忘れず、教育内容の質向上に主体的に取り組むことを目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の実践にあたり教員個々の共通理解を図る。	全教職員で積極的に取り組み、それを現実の保育に適正に反映できるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	急激な少子化、保護者ニーズの多様化、AIの普及、労働意識の変化、異常気象など幼稚園を取り巻く社会状況が変化しつつある中であって、子どもの育ちを一步ずつ積み上げていけるよう教職員間で意見を出し合い教育内容に反映させていく。
教職員の資質向上	園内研修はもちろん園外研修にも積極的に参加する。また人権・発達・心療など多角的な研修を受講し教職員個々の資質向上に努める。
危機・安全管理を図る	食物・動物アレルギーを保護者から聞き取り調査をし、職員間での情報共有を図り、万が一の事態に備える。危機管理委員会による情報収集を継続し、園児が安心・安全に園生活を送れるよう環境を整えていく。
教職員の労務管理をする	時間外労働時間が月平均1時間程度と理想的な労働環境が実践できているので引き続き継続していく。
保護者との良好な関係性を継続させる。	気になる園児の保護者と早めに、小まめに、個別に懇談の場を設けることで、園内での園児の様子を伝え、保護者の不安を解消したり受け止めたりしていく。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について全教職員が共通に理解し、教員相互に話し合うことで、教育目標達成に向けて概ね成果を上げることができたと考える。又、前年課題だった評価項目についてもPDCAサイクルを活用のうえ目標を達成していくことができた。保護者との関係においては、大きなトラブルなく良好な関係性を持続できている。今後も日常の保育を大切にしながら、良好な関係性を持続できるよう努力を怠らないことを決意するものである。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを引続き重ねていくこと。その為に、子どもの主体性を育む環境構成や言葉かけについて実践していく事を怠らない。また人権・発達・心療・マネジメントなど多角的な研修を受講し教職員個々の資質向上に努める。
危機・安全管理体制	大災害を想定した様々な準備（引渡し訓練、災害備蓄品、マニュアル）の定期的な実施と見直しをする。また、ハザードとリスク行動の存在を常に意識し、危機管理サイクル（目的・目標・手段・検証）を丁寧に点検していく。
園環境の改善	敷地・園舎内の危険箇所を見つけ必要であれば直ちに改善する。築年数が経過したことによる経年劣化が疑われる設備については適宜必要に応じて入れ替えていく。
保護者への情報発信	出来るだけ幼稚園の情報を発信し保護者に伝えていく *動画配信サービス、れんらくアプリ、SNSの活用 *園だより、クラスだよりでの情報発信 *個人懇談会での意見交換 *その他
支援を必要とする幼児の保育	幼児個々に応じた個別の指導計画を作成し、医療・福祉関係機関との連携を図りつつ保護者とも意見交換を重ねながら、幼児一人ひとりに沿った支援を継続していけるようにする。
熱中症対策	環境省が管理運営する熱中症予防情報サイトを日々確認し、エアコンの活用や園庭遊びの縮小などで園児や教職員が熱中症にならないよう配慮する。
運動あそびのエビデンス	運動あそびは幼児の基礎体力向上に資する取り組みであると自負するが、客観的なデータがないためその効果については不確かなところがある。幼児体育の研究を実施している研究者との連携を試み、エビデンス確立に向けて取り組む。

## 6・学校関係者の評価

総合的に学校運営は良好であると評価する。園児一人ひとりに向き合う教職員の態度は好印象を持てる。日常的に幼稚園、園児、保護者が「共に育ち合える」関係性を持って日常の保育を進めていることが分かる。園行事では、多種多様な行事を実施し、行事ごとに工夫や変化が見られ、園児達が飽きることなく保育に集中できている姿を見ることができた。気温が高く暑い中であって大変だと思うが今後も引続き子ども達のために頑張っていたきたい。岸部敬愛幼稚園の特色ある保育（仏教保育、音楽、造形、運動あそび）も、教職員の不断の努力により日々実施されていることは素晴らしく、学校関係者として嬉しく思う。少子化で園児数が徐々に減少していくなかで幼稚園経営は大変だと思われるが、地域に必要とされる幼稚園として今後より一層の活躍が期待される。

## 7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。